

令和3年度第3回射水市バリアフリー推進協議会会議録

1 開催日時

令和4年2月14日（月）午前10時30分～午前11時20分

2 開催場所

射水市役所大島分庁舎 大会議室

3 出席者

小柳津会長、鷹西副会長（リモート参加）、中村委員、本江委員（代理：久々江氏）、木本委員、福田委員、茶山委員、釣谷委員、門田委員、山崎委員、砂原委員、石黒委員、小松委員（代理：松井氏（リモート参加））、織田委員、小塚委員、小見委員、桜川委員、島崎委員

事務局 塩谷市民生活部次長、星野生活安全課長、保田生活安全課長補佐、北川主査、北川主事

4 欠席者

長谷部委員

5 議題及び協議概要

(1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の結果について

(2) パブリック・コメントの実施結果について

(3) 越中大門駅周辺地区バリアフリー基本構想（案）について

（主な意見等）

○ 先日、現地を見てきたが、越中大門駅の出入口とラッチ外トイレとの間に視覚障がい者誘導用ブロックが設置されていなかったため、設置を検討してほしい。

→ 現在、都市計画道路駅前線を整備中であり、委員のご指摘については、歩道の整備と併せて設置していきたいと考えている。

○ 駅前の整備により、景観が改善されたとともに高齢者対策が実施され、高齢者等の利便性が高まった。一方で、沿線には、保育園や学校が立地していることから、子どもたちが鉄道に親しみ、夢を持ってもらえるような仕掛けが必要と考える。小杉駅の例でいうと、小杉駅の地下道に壁画を描くなどの取組などがある。

- 子どもたちの利用促進に対する取組については、教育啓発特定事業など取組の中で実施し、公共交通利用の機運を高めていきたい。鉄道に親しみを持ってもらう仕掛けづくりについては、今後の課題である。
- 先般の降雪・積雪により、都市計画道路駅前線の視覚障がい者誘導用ブロック周辺に多く雪が残っており、障がい者利用の妨げになっているのではないかと思う。前回のまち歩き点検の際に、歩道にも消雪装置を設置してほしい旨の意見を述べさせていただいたが、歩道の雪対策の方向性を確認させてほしい。
- 都市計画道路駅前線の車道には消雪設備を設置しているが、水量の関係から、歩道への消雪設備の設置は困難である。歩道の雪対策としては、歩道除雪を実施することとしているが、現状を再確認させていただき、不備な点が確認できれば改善していきたい。
- その他の事業で、高齢者の免許返納を見据えた公共交通利用の促進が位置付けられているが、具体的な取組を教えてください。
- 高齢者運転免許自主返納支援事業を実施しており、本事業を通じた免許返納に伴う公共交通の利用促進を図りたい。
- また、本年1月に大島地区の全世帯を対象に、大島地区内の方用の時刻表を作成し配布した。このような取組などからも、公共交通利用の促進を図りたい。
- 越中大門駅のロータリーには標識が設置されているが、その標識に従わず、ロータリーを経由せず南側から右折する車両が見受けられる。標識に加え、道路に直進の白線を引くとよいのではないかと考える。
- 道路標示等の設置については、公安委員会と協議しながら進めているので、改めて検討させてほしい。
- 今回の構想案では、越中大門駅へのエレベーターの設置などハード的な取組が位置付けられた。一方で、これらハード面の整備を実施した先の利用者の物語を考えると、駅の役割や存在意義を明確にした上で、それに即した取組を整理されると良いのではないかと思う。